新聞定價一ヶ月80圓 一部賣(3圓) 月曜休刊 磐 城 日 日 昭和29年(1954) 1月31日 (日曜日) 第1040号

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人 梅野 隆

綱領

▲權力に屈せず言論の自由を守る
▲公平な批判、公明な報導
▲『今日の主張』をもつて本紙の社説とし基本的人權を擁護する

磐城日日新聞社

石城第二支會 圖畫習字コンクール

入賞作品決まる

六ヶ町村で合同展覽会

さきに行われた石城第二支会中學校長会小名浜方部及第二區運合PTA共催の全学年参加（一学級一名）の圖畫、習字コンクール大会は去る二十二日十時から習字＝小名浜第一中學校、圖畫＝小名濱第二中学校の二会場で開催され、審査長に圖畫…鈴木小名浜第一中学校長、習字…渡辺泉中學校長及各校主任が当り審査の結果、この程左の通り入選作が決定した

（圖畫の部）

▼小名浜第一中學校 特賞＝一年、遠藤猛男 入賞＝二年、鈴木滿、一年、鈴木恒、二年、和田滿、三年、米澤惠美子

▼第二中学校 特賞＝二年、手島乘孝 入賞＝一年、三浦キミ子、三年、石村美枝子

▼鹿島中学校 特賞＝二年、箱崎善子 入賞＝一年、八代紀男

▼泉中学校 特賞＝一年 大平康、入賞＝一年佐藤幸江、二年、江尻達男

▼江名中学校 特賞＝三年、新井惠司 入賞＝一年、吉田ふみえ、二年、佐藤義一

（習字之部）

▼小名浜第一中學校 特賞＝二年、竹田さち子、入賞＝二年、松浦喜美子、一年、大澤喜代治、二年、合津トミ子、三年、佐藤薫

▼小名浜第二中學校 特賞＝三年、永山妙子 入賞＝一年、三瓶ひとみ、二年、作山友美

▼鹿島中学校 特賞＝一年、道山一男 入賞＝三年、園部洋一

▼泉中學校 特賞＝三年、曾我三枝 入賞＝一年、志賀久美子、二年、志賀直子

▼江名中学校 特賞＝二年、吉田サヨ子、入賞＝一年、澤入紀子、三年、作山初子

以上三十三点となりこの展示会は三十日の小名濱第一小学校を皮切りに左の日程で小學校兒童作品との合同展覽会を参加各校に於て催される

合同展日程

小名浜町内校…二月一日～七日
江名町内校…八日～十四日
磐崎村…十五日～十七日
湯本町内校…十八日～二十四日
渡邊村…二十五日～二十七日
泉町内校…二十八日～三月一日

小名浜、湯本教委に社會教育主事設置

縣教委吉田主事など推薦

縣教育委員会では石城郡下初の社会教育主事として次の三氏を推薦し、小名浜、湯本の教育委員会に社会教育主事の設置方を推薦して來た

▼縣教委石城出張所社會教育課 吉田均氏
▼小名浜町公民館主事 吉田幸氏
▼湯本町公民館主事 長谷川榮氏

前記三氏は昨年七月から十月迄福島大學で行われた文部省主催東北地區社会教育指導主事講習会に各町教育委員会の推薦を得て受講、旧臘十二月三日附文部大臣から社會教育主事の資格を附與され縣教育公務員として各町教育委員会に推薦されたものである

社会教育主事の設置が實現すれば近年頓に社会教育の重要性が要望されてゐる今日、その専門的な指導によつて相当の躍進振興が期待されている

二階建＝六教室

小名一中の増築決定

二十八年度初頭から懸案となつていた小名浜第一中学校々舎増築問題は國庫補助の問題で行き悩みとなり、齋藤教育長はじめ教育委員、文教委員再々に亘る運動の結果ようやく実を結び、近く着工三月末には完工の運びとなり、新入生は新校舎に学ぶことになつた

増築決定となつた第一中學校校舎は現在のテニスコート一面を潰して建坪一八九坪の木造二階建て六教室で九九万八千円の國庫補助が含くまれている

一中は現在一〇八二名の兒童を二〇学級に編成して全校舎をフルーに使用し教室不足のため公民館を臨時に使用すると云う惡境にあり、加えて來年度は百名の増加が見込まれて最低二二教室を必要とし、現在の校舎では收容不能という事態に追い込まれていたため、今回の増築は焦眉の急となつていたものであるが國庫補助の確定により、學校當局は勿論PTAなどの憂愁の眉が開かれることになつた

小名濱町政寸觀

植田町 成瀬生

社会の注目を引いた小名浜町長選擧も立花氏の優勝裡に終幕を告げた、某新聞の如きはこれを以つて立花氏の宿願が成つたと報じて居るが、私はむしろ立花氏の政治閲歴から云つて当然のことで立花氏は敢えて町宰たることを以つて宿願とする人物とも思はれない、我が鄕土のために盡すには町長の椅子に就かなくとも其途は何程でもあるもので要は氣魄と誠意の問題であろう

今日の小名浜商港の産みの親ともいうべき小野晋平氏はあえて町宰の椅子にあつたであろうか、成るほど後年町長の椅子に就いたのではあつたが商港実現のためには眞に熱と誠を以つて私財をなげうつて强引に商港の実現を圖つたのである、この点に於て幾多石城に政客はあつたが、小野氏に及ぶ人はあるまい、筆者は当時小野氏と政黨的立場を異にして居たが小野氏を石城に於ける唯一の政治家であり、その英雄的擧措に對して敬意を惜しまなかつた一人である、幸に立花氏は町宰の榮冠を擔ふに於ては往年の小野氏に負けない氣魄を以つて、熱と力によつて大小名浜の建設に邁進されん事を期待して止まない

※

一方立花氏と對立候補に起つた志賀氏にしても落選したからとて落膽するに及ばないと思ふ、志賀氏の人格高潔は三才の童兒でもよく信じて居るところであるが、おそらく小名浜町の町民大衆は多事多端の小名濱町宰としては、淸き人格のみを以つてしては期待しがたいものがあつたのであらう天の與へた今回の試練を生かして、曹家の旦那氣分を捨て、眞に大衆に溶け込んだならば捲土重來は期して疑ふ可くもない、こゝしばらくの自重と修養が最も望ましいところである

長瀬助役と野崎收入役は新立花町長の許に辭表を提出して水野前町長に殉ぜられたとの事であるがその政治的道義に基く出處進退は誠に推賞に價するところである、此程新聞の報道によれば、知事選擧後の主腦部の進退が兎角話題となつているとき、長瀬助役の進退は以つて推賞に價いするので此の人格、この氣魄こそ立花町長は買ふべきものであるまいか、若しこゝに於て、立花町長が三顧の禮を以つて再度迎えて助役の椅子に就かしめてこそ役場事務に精通せる点に於て他に比類なきよき伴侶となることが出來るであろう

二月一日錦町議會

錦町では來る二月一日午前九時より町役場会議室に町議會を招集、次の案を審議する

一、縣営治山事業（須賀の造林）施工専決處分の承認を求める件
一、直營工事（中田、關下の道路工事）〃の件
一、予算外義務負担の件
一、二八年度錦町歳入歳出の件
一、予算外義務負擔の件
一、契約締結に關する件
一、二十八年度藥害費特別会計歳入歳出の件

品質本位、新柄の店
樋口呉服店
小名浜町 電三〇四

補償金百万圓決定

錦藥害對策委

錦町藥害對策委員会は二十七日午後一時より町役場會議室に開き二十八年度分の呉羽藥害補償金は百万圓を支出することになつた

橋型起重機動く

ドロマイト積込で操業試驗

暫定基準料金一時間五千円を巡つて難行を思わせていた小名浜港三千トン埠頭の橋型水平引込式起重機の操業試験はその後縣小名濱港務所の音頭取りで民間荷役会社との円滿な話合いが進み兎に角一應試驗操業の結果を見ようと近く第一回操業が三洋海運株式会社（社長三木友軌氏）小名浜出張所（所長石川淸氏）扱の泉丸（三、九〇〇噸）…山下汽船所有…三十一日入港予定船でドロマイト約二、二〇〇噸の積み込みが行われる事に決定、續いて小名浜埠頭株式会社扱：第十九雲洋丸…中村汽船所有…二月三日入港予定船でコークス八六〇噸の荷却操業も予定されている、これによつて同機の新偉力が發揮され港小名浜の荷役操業の一大改革として大きな期待がもたれている

機關紙愛汗を発行

修養団支部

勿來町に浜通支部をもつて社會建設運動を推進している修養団濱通支部（支部長金成正二氏）の一月定例会は二十八日午後六時より勿來町公民館に約三十余名の會員が集つて開いた

先づ修養団の發行している「向上」の輪讀會を行い、その讀後の発表を行つた、またこの日は各自各自の「勿來將來の夢物語り」を發表した、また來月より支部の機關紙として「愛汗」を發行することになつた

終つてレクリーエションに移り新案福引、迷句會を開き和氣あい〱の中に午後九時閉会した

公民館に優勝カップを寄贈

勿來の關根君

勿來町の關根亭君（二〇）はこの程勿來町公民館に高さ三十センチ、直徑二十センチの大銀優勝カップを寄贈した

このカップは關根君がかつて磐高時代ラクビーの主將として活躍して、ラクビー磐高の名を縣下にたたえたもので、そのカップは卒業記念として關根君に贈られたものだが家に保存するよりは町に贈つて勿來町の体育の向上のために利用して下さいと寄贈したもので、石井館長を初め全町より感謝されている

學級運營コンクール

植田中學校

植田中學校（校長園部一己氏）では二十九日學級運營コンクールを行つたこれは本年最後の學級運營をどうしたらよく出來るかと先に打合せ会を開いて決議した善想で、コンクールを開催したものでこれを通して長所短所を検討し改善する余地は更に指導、討議しようというものである

天氣豫報 31

（本日）北よりの風晴れ時々曇り、後雲が多くなります
（海上）日中風波がありますが次第におさまります

魚菜市況 30

（小名浜中央青果市場）卵一〇～一一、五里いも五五～七〇馬鈴薯五〇～八〇さつま三五～六〇大根一〇～二〇ねぎ五〇～七〇切いも一九〇～二二〇

東京大相撲
吉葉山一行百七十名
堂々植田町にて
初場所開く
新横綱 吉葉山 大關 三根山
關脇 時津山 平出身
日時 二月八日（舊正月五日）午前六時ヨリ
場所 植田中学校々庭
前賣券一五〇圓
磐城日日新聞社にあります
主催磐農高普通科獨立促進連盟

インサツは……ナがセ

譲宅地
場所 第二小学校通り
坪數 六〇坪
價格其他御相談に應じます

譲文化住宅
場所 岡小名閑靜別荘地向（町へ徒歩廿分）
建家 二棟 湯殿納屋付
價格條件其他御相談に應じます
連絡所 小名浜町久保
田口兵次郎 或は
本社業務部

郡下初の科目も採用
注目の野田青年學級開く
農林文化に〝演劇のやり方〟

小名浜町教育委員会、同公民館では先に教育委員会で制定された「青年学級に関する教育委員会規則」に基きその第一號として野田部落有志の要望により野田青年学級を二月一日から開講する事になつた

野田部落は生活改善運動にも相当の成果を收めている部落で既に區長山崎一氏を委員長、區長代理大和田茂氏を副委員長に部落内のPTA、生活改善会議、農業委員、婦人会、青年会、女子青年会など各團体代表と講師關代表として高萩精玄氏、教育委員会代表として齋藤教育長を交えて青年学級運營委員會を組織自主的な運營に萬全を期しており、モデル青年學級として注目を集めている町内では更に住吉部落、鹿島地區にも同學級の開設が企画されているが野田青年學級の講座内容を見ると次の様になつている

▽時間は二月一日開講、三月から毎週月、火、水で毎週月、火、水、木の四日で四月迄、一日二時間で總時間百五十時間

▽課目は國語（手紙の書き方、日本文学の鑑賞新かなづかい）十六時間、社会（時事問題、郷土史、町政をきくの会、演劇のやり方など）四六時間、職業科（氣象について、農地の計り方、、水稲栽培、珠算の他營農技術關係）四三時間、家庭（家庭醫学、料理、育兒、家計簿のつけ方など）二二時間、英語（日用英語・新語の解說）八時間、レクリエーション（映畫、スクエアーダンスなど）十八時間各講座中「演劇のやり方」と云う郡下初の科目が組み込まれてその結果が注目されている

勿来カルタ會

勿来町では舊正月十四日公民館ホールに於てカルタ会を催すことになつた会費は五拾圓で多数の參加者を希望している

坂倉氏ら立候補
水素勞組三役改選

小名浜町日本水素勞働組合では去る二十二日、二月定期改選と春季斗爭題化を目指して現執行部の繰上總辭職を行つたが、これにより三役の立候補者の屆出を待つた結果三十日正午、締切迄に左の諸氏が届出た

▽組合長立候補者

永村太郎（三五）氏……前副合長（倉庫課）

坂倉祐（二六）氏……元書記長（電機課）

阿部友三郎（三三）氏……元執行委員（厚生課）

關根末吉（五三）氏……元副組合長（工作課）

▽書記長立候補者

菅原秀夫（二九）……前書記長（勞務課）

雜誌・機關紙
チラシ
事務用印刷物
長瀨印刷所
TEL 219・387

汽笛
排他的な専門店會の投書に答える
専門店会

「排他的な専門店会」と云う御意見に對して御答え致します

御承知かと思いますが専門店会は大資本のデパートに對抗して横の連繫を密にし中小商業の擁立自営を目的としております

そうした觀点から小名浜町におきましても一昨年六月三三軒の加盟店舗によりまして發足現在は五十軒と皆さまの御支援によりまして成長させていただいておりますが私達の最大最上の念願は消費者殊に俸給生活者の方々に對するサービスの向上であります

私達のチケット一册あれば生活出來ると云うのが私達の本願であります

御意見の新店加盟問題でありますが、私達は全然門戸を閉ざして自利にふけろうとしているのではなくして、種々の角度からこれを検討して消費者に眞の利益があると考える場合こちらから御願いしても加盟していただいている現狀です

問題は加盟店の軒数でありますが全日本專門店会連盟や先般の商業診斷でも明らかにされておりますが小名浜町の場合一業種二店舗以內、加盟店三十軒乃至四十軒が最高適となつておりましてそれ以上の加盟店では会の運営に支障を來たし必然皆様へのサービーも欠除して行く結果になりますとことは容易に御了察願えること存じます

でありますからして新加盟に對しては未加盟業種を優先して御願いし「店よりも先ず主人の人格」と云う点に重点をおいて選考しておるような次第であります

新加盟申込みも十月から既に二十数軒に達しておりますが大部分は飲食業種でありまして、これはチケットの安易性から家庭経濟を破壞するのではないかと云うようなことも憂慮されますので御遠慮願つている様な実情であります

以上当会のあらましを申述べましたが今後とも種々御意見を承りたく、なお一層の御愛顧の程を御願い申し上げます

随想 仙台高尾 ⑥
高萩精玄

さてこの邊で、渡邊村の馬上家につたわる巻々を引用することにいたしましよう。

現在馬上家に保存されている高尾の傳記に關するものは、北山山本信有撰の「高尾塚碑記」と磐城の儒臣林鄰撰の高尾の碑文及びその和文の三者が一巻になつているものであります。このうち「高尾塚碑記」には

（上略）それ吉原は妓海なり、粉白黛綠百千群を成す。一として城を傾けざるの容なし。然して世特に高尾を推して上頭となす。高尾は妓の世稱なり、色藝兩絶にあらざるよりはこの稱を襲う能はず。八世の後、その人なし。この名竟に吉原絶ゆ。第三世は即ち鹽原高尾なり。色藝八世中第一に居る。故に名は最も高し。当時、公子富商大人豪容 千金一笑を買わんと欲し、百方一たび覩ることを求むるも、未だ必ずしもよくせず。一旦富貴の人に歸はる。高尾觀ること草芥の如し。節を情人に守りて汚すところとならず。遂に三叉の水に害に遇ふ。その操の高き、その艶の艶なる。神としてこれを三叉の水神に祀る。今現に高尾祠あるはこれなり、或は謂ふ害に遇うは必ずしも実ならずと（下略）（原文は漢文でありますが、筆者が和文に書き改めました）

などと書かれてありますので北山山本氏は、仙台高尾は三世であると考えていたことが解ります。

北山山本信有は、その祖父とともに幕府の儒臣で、寶歷二年（一七五二）江戸に生れ、文化九年（一八一二）五月十八日六十一才で歿しました。

寛政十一年（一七五九）彼が四十八才の時鹽原に遊びました。その際土地の人々に鹽原高尾の碑文を依頼されましたがその約束をしないでいたところ、それから三年後の享和二年妙雲寺——後出——の住持と和泉樓の主人が江戸に出府した折無理に書かされたとのことが碑文の終りに書かれてあります。

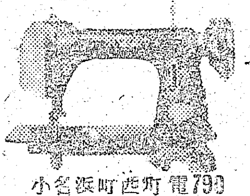
有名な戯作者山東京傳の舍弟京山岩瀬百樹の「京山高尾考」が今じく新燕石十種第二に載せられておりますが、その中でこの北山碑文について次のように書いているのは誠に興味深いことではありませんか。

ある鴻儒先生、寛政十一年巳未の秋、高尾の出生地下野國鹽原の溫泉に浴し、和泉屋太郎兵衛といふ浴室に逗留ありしに亭主すこぶる風雅ある者にて、ここは高尾の出生地なれば一碑を殘さんとて、鴻儒に文を乞ひて亮和二年壬辰の秋建てたる碑ありと聞き、この碑文には必ず高尾の実傳があらんと渇望し、百計してやうやう里人に寫しもらひて讀みしに、おもひの外俗說に從ひて書かれしを思へば、高尾が生れし地にても実傳を尋討せし人なかりしと見えたり碑を建てなかなかに誤りを千古に傳ふ。（中略）鴻儒先生千古に殘すヒ文さへ斯の如くなるは、高尾が實傳の書なきゆゑなり

巷の學者京山によつて宗膚なきまで叩かれた北山のヒ記が、現在、しかも私たちの身近かに傳えられていることとは感慨一入深いものがあります。

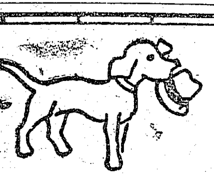
お好み番組
30〜2日迄 同時上映
家をあけることは危險
映画は交替に見ませう
東寶青春ホガラカ大會
ホープさん
ラッキーさん 三〇日より 三一日まで
時代劇は東映大忠臣藏映画の最新作
赤穂浪士 一日より
妻戀坂の決斗 二日まで
小名浜 キンヒ館

募集！
印刷工
文選工
經驗者 若干名
希望者は履歷書持参の上御来社下さい
委細面談
小名浜町消廻五一
長瀬印刷株会社
電話二一九

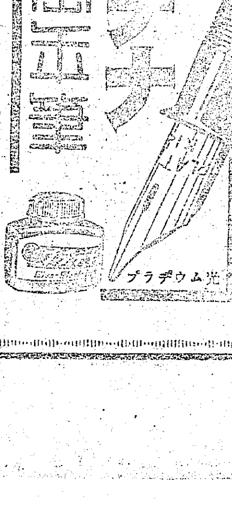


パンコク ミシン
月払2,000円ヨリ
御相談に應じます
大和田
チケット御利用下さい
ミシン商会
小名浜町西町 電790

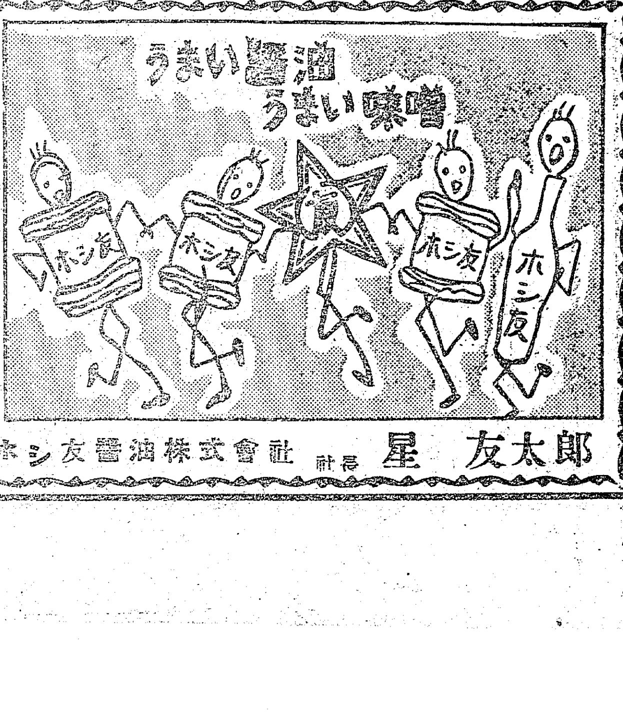
醫療法人 柳田病院
診療科目
外科・整形外科
内科・産科
婦人科・レントゲン科
健康保險・労災保險・生活保護法
結核豫防法・優生保護法指定医
植田町番所下六五ノ一
電話三〇二・三六五番
新設 泉舊藩診療所
泉町大字泉字泉二〇一 電話二四番



經費をかけずに良い品安く
皆様のお店です
多服地ネルカセン純毛特價
夜具地と裏地フトンの手入
カネボウ毛糸 1900円
松月足袋別珍特製160円
豆別珍55円大人100円
純毛コットン1500円より
セーターカーデガントックリ
裏毛メリヤスはオリエント
学生服セーラ服學帽カバン
化粧品柳屋メヌマ ジユジユ・ウテナ 80円
ちどりフトン綿
舊年末年始の御贈答品
良い品嬉ばれる品私共は
常に皆様の御相談相手と
して待機しています
皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前 電二九七
チケット歡迎



賞金10万圓當る 景品付大賣出し
二重品景
壹本お買い毎に
プラチナインキ進呈
世界の有名品
プラチナ
高級萬年筆
プラデウム光
特約店
小名浜町本町
泉
小泉屋
電話一二三番



ホシ友醤油株式會社 社長 星友太郎